

オビワンが家に来て、3週間が経過しました。

オビワンはおとなしくて、おりこうさんです。
オビワンを選んできた夫に感謝しています。

オビワンは、譲渡当初は、ずっとしっぽが足の中に挟まっていた。
人、犬、車、自転車、音、何もかもに恐れているようでした。

今は、よく知っている散歩道を歩くときや、
私が帰宅したとき、ごはんの時は、くるりと尻尾が上がっています。
こんなときは、家族全員で大喜びです。

私が外出先から帰宅したり、
ごはん、おやつ、寝るとき、
散歩のために、近くに行くと、
しっぽを元気よく振るようになりました。
我が家に来て、ちょっとは嬉しいこともあるのねと、
ほっとしたような気持ちになります。

オビワンは、今、寝ています。
昨日から自分でクレートに入れるようになりました！！
(ドアなしですが)

最初の2週間くらいは、
夜眠れないようでしたので、
寝るときも手をつないで寝ていましたが、
最近は、落ち着いて私の隣で寝ることができるようになりました。
お布団に乗ってはだめよと言いつつ聞かせて、
フローリングに、
私がしばらくシート代わりに敷いてにおいをつけたバスタオルを敷いてやると、
最近は、その上に丸くなっています。

お散歩は、朝、夕1時間ずつ位と、時々、昼間も。
オビワンが来てから、私はたくさん歩くようになりました。
今まで車移動ばかりでしたので、
近所の森、住宅街、公園と一緒に歩くと新発見ばかりで楽しいです。

子供達（4歳、7歳）も、「耳が動いた！」

「歯がぎざぎざだねえ」

「オビワン一人でお留守番は可哀想だから、
近所の公園であそぶ」と言っています。
家族みんな、オビワンが大好きです。

あちこちの公園に連れ出して、
いろいろな人に、「いい犬ですね」、「かわいいね」と声を掛けて頂き、
「よしよし」してもらいますが、
当初よりはかなり人なれして、
初対面の人にも、「よしよし」してもらえるようになりました。
近所の子供にも人気で、
子供達がわしゃわしゃさわりに来ますが、
何とか耐えてくれています。

でも、犬は苦手なようで、
フレンドリーなワンちゃん達が、くんくんご挨拶してくれても、
目をあわせないようにしています。
一度は、ミニチュアダックスがくんくんしていると、
短く「わん！」と吠えました。

普段は、ほとんど吠えません。
かんだことは、一度もありません。

私が散歩中に他の人とお話していると、
「お母さんは長話だからしょうがないな」と、
静かにそこで座って待っています。

狂犬病の予防接種を近所の獣医さんにしてもらったとき、
「歯の神経が全部露出しています。」
と言われました。

「檻などの金属を、ずっと、歯でガジガジしたのかもしれない。
かなり磨り減っていて、全部の歯の神経が見えています。
食事のとき、かなり痛いのでは？」とのことでした。
治療は、抜歯して、神経を全部抜くとのことでしたが、

考えただけでも恐ろしいので、遠慮しました。

注射は、良い子で頑張りましたよ。
待合室でも、他のわんちゃんがいきましたが、
ちゃんと落ち着いてお座りして待っていました。

おしっこが、最初、出にくかったのですが、
今は、一日に2〜3回は、出るようになりました。
ちょっとずつではなく、一度にまとめてたくさんします。
マーキングはしません。
おしっこすると痛いのかなあ？腎臓を、少し心配していますが、
手術は避けたいので、しばらく様子を見ます。

お散歩のひっぱりはなく、いつも人の顔色を見えています。
前の飼い主さんが、厳しかったのかなあ。

ドッグランに連れて行きましたが、
まったく走りませんでした。
ドッグランの方によると、
「まれに、走らないわんちゃんがあります。」とのことでしたので、
オビワンは、「まれ」なのだと思います。
前の飼い主さんが、ご高齢だったのかなあ？

ドライフードより、お魚のごはんがすきです。
室蘭保健所出身なので、室蘭の美味しいお魚をたくさん食べていたのかなあ。
魚屋さんで、あらをもらってきて、圧力鍋で骨までトロトロにして、
玄米、雑穀、お野菜と一緒におじやにするのが定番です。
しっぽでは、ドライフードを160gくらいと教えてもらいましたが、
おじやだと、水分が多いせいか、
もっと、もっとと、300gくらいぺろっと食べますが、
数日に一回くらい全く食べない時もあります。

軽い断食は、人間と同じで、内臓を休めるのに良いと、
手作り食推奨派の、須崎先生の本にも書いてあったので、
食べなければ10分で下げます。
同じものを何度か温めて出すうちに、

また、ぺろりと食べます。

うんちは、毎日ほどよい硬さのうんちが出ますし、
体重は14キロのまま。

自分で食事量をコントロールできているようなので、
体の声をよく聞いて食べてねと、任せています。

そして、そうめん、パン、スパゲティ、刺身が、食卓に乗ると、
おすわりして、じーーーーっと、私達を見ます。

吠えないし、じたばたもしません。

ただ、じーーーーっと見るので、かわいそうになって、
ちょっとだけあげますが、あつという間に食べ終わり、

「もっと」と、また、じーーーーっと見ます。

食べすぎは良くないので、「もうないよ」と言って、
家族みんなで知らん顔するのが、苦行です。

前の飼い主さんが、いつも自分のごはんをあげてたのかなあ。

車の荷台には、自分でひらりと飛び乗ります。

車は好きみたいですが、油断すると座席に普通に乗りとうとします。
前の飼い主さんは、座席に座らせていたのかなあ。

うちでは、クレートに入れて、荷台に乗せたいのですが、
荷台でうろろうして、よだれをだらだらたらすので、
あまり乗せません。

お留守番も苦手です。

さっき、子供を幼稚園のバス停に送りに行って、
10分ほどでかけたら、いすの座面がぼろぼろになっていました・・・。

あーあ。

子供達とオビワンでお留守番させると、
必ず、オビワンが暴れだし、床をつめで引っかいたりするそうです。

3時間くらい一人で平気なときもあるので、
これから徐々に慣らして行こうと思います。

また、クレートトレーニングは、これからもがんばろうと思います。

今は、ドアを外して、ご飯を中に入れて、食べさせています。

お気に入りのバスタオルを敷いてやると、

ごはんの時以外も、昨日から自分で中に入るようになりましたが、今朝、クレートの中にいるときに、4歳の息子がよしよしすると、短く、「わん」と吠えました。

息子はショックで大泣きしたので、クレートは、自分のテリトリーと思っているのかなあと、話しておきました。

まだまだお互いに試行錯誤していますが、徐々に落ち着いた関係、距離感を保てるようになれるといいなあとと思っています。

美容院に、電話で、保護犬ですけど……。と伝えると、一瞬先方が固まりますが、うちに来た最初の日に、シャンプーしてもらったときは、「とても良い子でした」と褒められました。

ご近所の方や、公園であった方に、「何歳ですか？」と聞かれて、「推定5～6歳です。」というと、???となられるので、「保護犬です」と、お話しすると、目に涙をためて、「救ってくださって有難う」「いいところに来てよかったわねえ」とおっしゃる方、「お家が新築なのに大丈夫ですか？」と心配される方、みなさん親身にいろいろお話して下さいます。

我が家はテレビがないので知りませんでしたが、世間では、保護犬のことは、報道などで、かなり知られているようです。これからも、保護犬に関心が高まって、動物と人間が良い距離感で過ごせる世の中になるように祈ります。

久々にしっぽの会のHPを拝見したら、新しいわんちゃんが増えていますね。

どのわんちゃんにも、良いご縁がありますように。

私どもにオビワンとの良いご縁を有難うございました。

これからも、よろしく申し上げます。